

一般質問



江曾 ゆかり 議員
(無会派)



■男女共同参画の視点からの防災・減災・復興支援策について

防災の分野に女性の視点を！

質

①防災の分野においても男女共同参画の視点が求められている中、地方防災会議への女性参画について、国が目標とする30%の達成を、今後、どのような展望で臨まれるのか伺う。

②いまだに市営住宅は、友人同士や同性パートナーとの入居はできない。多様な生き方に対する理解促進は当然のこと、復興公営住宅入居時には、制度実施が必要と思うが、市の考えを伺う。

答

①防災・減災対策に女性の視点を積極的に取入れているため、防災会議を構成する関係団体に、女性委員の登用を働きかけ、委員構成の見直しを進める。

目標の30%が現実のものになるよう、次回の任期に向けて取り組んでいきたいと考えている。

②現在、友人同士や同性パートナーとの入居についての問合せや相談がないため考えてはいないが、今後、同性パートナーの入居についての問合せや相談があれば、前向きに検討していきたいと考えている。

一般質問



山花 剛 議員
(無会派)



■なかじま猿田彦温泉いやしの湯の再開に向けた対応について

質

施設再開に向けた対応について、次の4点を伺う。

①再開に向けたこれまでの対応と進捗について

②指定管理者の不在と体制再構築の遅れについて

③市による直営・暫定運営の可能性について

答

①能登半島地震以降に休館、令和6年3月に当時の指定管理者に対し不可抗力による指定の取消しを行った。再開に向け、令和6年7月に受電池を復旧し、施設への通電が可能となり、温泉・空調・給水の設備稼働確認を順に実施し、修繕が必要な箇所の特定を行ってきた。

②指定管理をするために施設の復旧が必要であり、修繕が必要な箇所の特定や、工事内容の協議、管理方法の検討などに時間を要したことが主な要因である。

③改めて検討したが、人員配置や専門的な施設管理体制が必要なため、直営は難しいと判断している。

④営業再開に向けた施設の復旧工事費などについて順次進めていくこととしており、6月2日からは指定管理候補者の公募を行っているところである。指定管理候補者が決まれば、9月会議において、指定管理料の補正予算並びに指定管理者の指定の議案を上程したいと考えている。その後、指定管理者と協定の締結後、営業再開時期などを協議の上、決定していきたいと考えている。単なる入浴施設ではなく、地元の方々にとって情報交換や人と人が触れ合える大切なコミュニケーションの場所であると認識しており、市として一日も早く再開できるよう取り組んでいく。